

# 株式会社小田島組

所在地 岩手県北上市藤沢20地割35番地

従業員数 140人

事業内容 土木工事業

(令和3年7月末現在)

## 健康経営に取り組むようになったきっかけ

取り組みのきっかけは、弊社で長く勤めた社員が、体の不調が原因で退職せざるを得なくなったという出来事でした。

土木工事業は、時に過酷な環境下での作業を強いられることがあります。現場では安全訓練やパトロールを実施し、作業の注意点など業務上の指導・情報共有をしてけがや病気を防いでいますが、体調不良やストレスからくる不注意により重大事故につながることも少なくありません。どの業種でもそうですが、私たち土木工事業も健康な心と身体があってこそベストパフォーマンスを発揮できるものです。そのため、早くから健康経営に取り組むことで社員の健康意識向上を図ることが、会社・社員にとって必要不可欠なことだと考えています。

人生100年時代に突入した現代で、大きな課題となるのは健康マネジメントです。社員が健康で長く働くために健康経営は重要な取り組みのひとつと考えます。

健康で生き生きと働ける環境を整えることで、魅力ある企業づくりを目指しています。

## 特に力を入れた取り組みとその効果

特に力を入れている取り組みは2つあります。

一つ目は『運動の推進』です。新型コロナウイルスの拡大により弊社でもテレワークを利用した働き方が推進されましたが、運動不足という新たな課題が発生しました。そこで、運動不足を解消するため実際に現役チアリーダーを講師としてお招きし、社員や地域の住民を対象とした筋力トレーニング講座を開催し、開催の様子をオンライン配信することで、会社から離れた現場にいる社員も受講できるよう工夫しました。トレーニングメニューは家庭でも実践できる内容で、参加者からの評判もよく、一緒に運動することでコミュニケーションの場の確保にもつながりました。

二つ目は『治療と職業生活の両立』です。65歳を過ぎたベテラン社員が病気を患い、地元の病院に通いながら治療を行うことになりました。働きたいという強い意欲のあった社員に対し、療養中でも時間があるときにはリモートで業務を行える環境を整えました。治療を終えた現在も自宅からリモートで現場支援業務を行っています。この働き方が会社全体へ与えた影響は大きく、リモートで業務を行うためのITツールの導入やテレワークの推進につながりました。



筋力  
トレーニング  
講座の様子です



リモートで  
ブログ記事を  
執筆しています

ホームページ

<http://www.odashima.co.jp/>